

## 奈良きたまちインターカレッジコンペティション 2023 実施報告書



### 事業名：奈良きたまちインターカレッジコンペティション 2023

開催期間：令和 5 年 4 月 16 日（日）から 8 月 6 日（日）

4 月 16 日（日）10：00-16：00 / オリエンテーション・まち歩き

4 月～6 月：各大学での授業・現地調査・ヒアリング

6 月 10 日（土）14：00-16：30 / 主催者オンライン会議・地元調査調整

7 月～8 月：各大学での授業・現地調査・ヒアリング

### 成果発表会（奈良きたまちインターカレッジコンペティション 2023）

日時：令和 5 年 8 月 6 日（日）12：30～16：30

場所：はぐくみセンター 9F 大講座室

参加人数：合計 124 人（発表学生 6 大学 36 人、一般来場者 51 人、関係者 33 人、審査員 4 人）

審査員：審査員長 奈良女子大学・京都大学名誉教授 増井 正哉 教授

    鼓阪地区自治連合会 有山 行基 副会長

    佐保地区自治連合会 岡崎 忠直 会長

    奈良市 観光経済部 栗山 稔 部長

主催・共催：畿央大学、天理大学生涯教育専攻、同志社女子大学生生活科学部人間生活学科都市空間研究室

奈良学園大学、奈良県立大学、奈良女子大学生生活環境学部住環境学科、

鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会（なべかつ）、

転害門前旧銀行建物活用協議会（てんかつ）、きたまちコンセント、奈良市

## 審査結果

**最優秀賞（1位）** 畿央大学 ぱいのみ

「静かな森の中で。」

**奈良市賞（2位）** 奈良学園大学 理想マップ

「きたまち農園－「農」を通して人とつながる」

**優秀賞（上位2チーム以外のチームより選定・順不同）**

### 鼓阪地区自治連合会賞

奈良女子大学 チーム住環

「ぐるっとバス きたまちルート」

### 佐保地区自治連合会賞

奈良県立大学 なけん1年ゼミ

「家族のようなきたまちへ」

### 鍋屋連絡所の保存・活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会賞

同志社女子大学 新きたまち協同組合

「甦るコンビニ・繋がるきたまち～きたまちストップ～」

### 転害門前旧銀行建物活用協議会賞

同志社女子大学 しかせんべえ

「新しいきたまちのカタチ」

### きたまちコンセント賞

畿央大学 畿央大学B班

「まちのリビング～ともすび～」

### きたまち賞

奈良県立大学 きたまち tellers

「情報発信の+α－きたまちらしさを伝えよう」

---

### 実践報告（昨年提案した内容の実現に向けての発表）

天理大学 未来の社会教育士チーム ver.2

「きたまちプリズム－人と人、人と地域をつなぐ実践－」

4/16 オリエンテーション・まち歩き



大学での調査・6/10 中間発表のようす



8/6 成果発表会（主催者挨拶・審査の様子）



8/6 成果発表会（学生発表・表彰の様子）

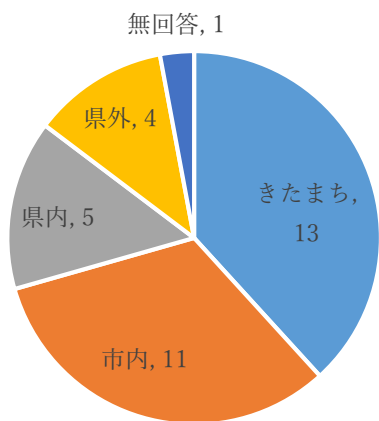


## 来場者アンケート結果

回答数 34人

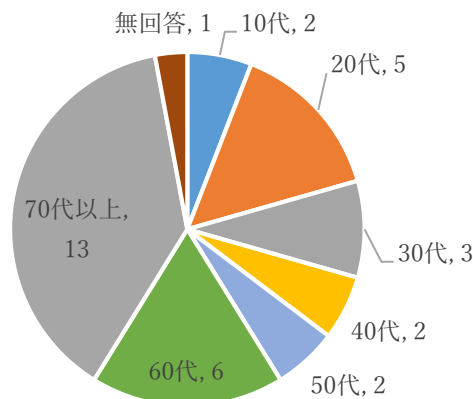
設問1 あなたのお住まいはどちらですか。

- 1、きたまちエリア（近鉄奈良駅以北の旧市街地）  
2、奈良市内 3、奈良県内 4、奈良県外  
(回答者数 33人)



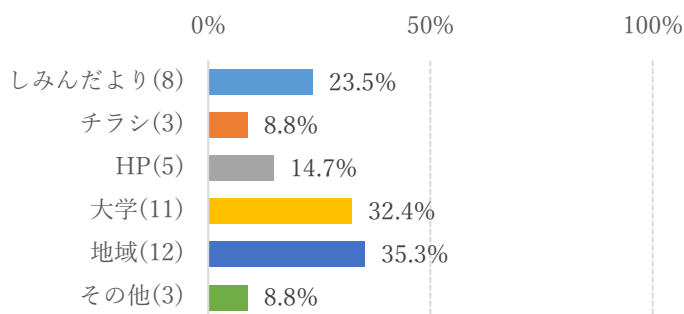
設問2 あなたの年齢を教えてください。

- 1、10代 2、20代 3、30代 4、40代  
5、50代 6、60代 7、70代以上  
(回答者数 33人)



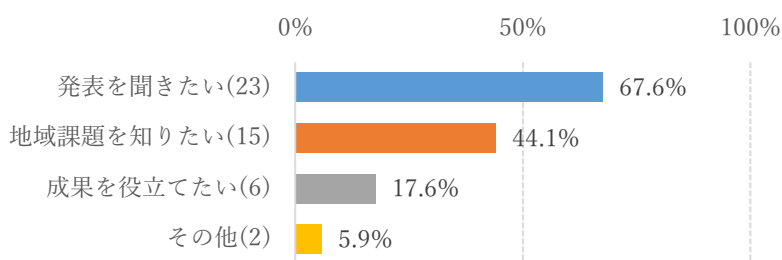
設問3 奈良きたまちインターカレッジコンペティション2023は、何で知りましたか。(複数回答可)

- 1、しみんだより  
2、チラシ  
3、ホームページ  
4、大学  
5、地域の団体  
6、その他



設問4 来場の目的を教えてください。(複数回答可)

- 1、学生の発表を聞きたい  
2、奈良きたまちの地域課題を知りたい  
3、発表の成果を地域で役立てたい  
4、その他  
(回答者数 34人)



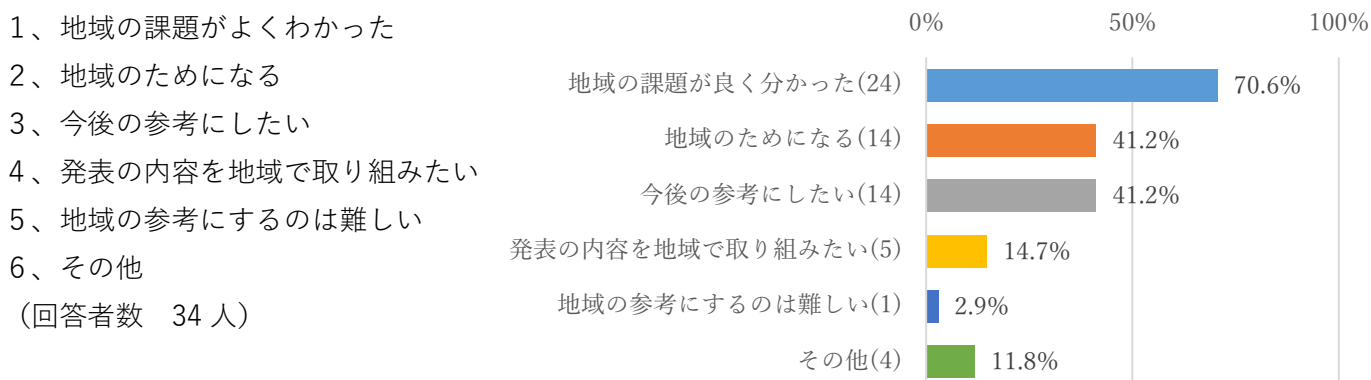
その他（自由記述）

- ・東京から奈良への移住を検討しているため。



設問5 学生の発表についてどう思いましたか。

(複数回答可)



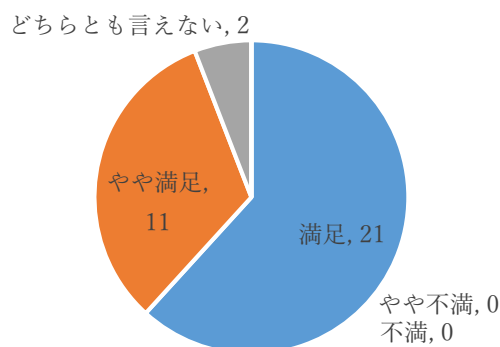
その他 (自由記述)

- ・具体的でアイデアにあふれた提案が多い。
- ・全ての発表を聞いて全体像が分かった。全てのチームが現状について共同調査する、又は、意見交換するときに今回の各チームの研究が使えるように思った。
- ・収益化の具体的な構想が聞きたかった。

設問6 学生が地域課題に取り組み、その成果を発表するこの企画についてどう思いますか。

- 満足
- やや満足
- どちらとも言えない
- やや不満
- 不満

(回答者数 34人)



理由 (自由記述)

「満足」を選んだ方の理由

- ・住民と学生の両方の考えが見えてくる点が面白い。
- ・現場に入り聞きこんでおり、かなり実地的である。
- ・各団体の色が出ていて良かった。今回の発表の「続き」が具体的であるようなコンペであり続けてほしい。

「やや満足」を選んだ方の理由

- ・学生が地域課題を探る中で地域を理解し、自身が関係人口となれると考える。
- ・学生らしい提案があり興味を持てた。提案内容が中途半端なチームもあり、もう少し提案内容を説明していただきたい。

設問6 来年度に取り組んでほしいと思う地域課題 (どの地域でどのような課題があると感じているか、など)があれば教えてください。(自由記述)

- ・少子化対策
- ・世代間の地域交流
- ・商店街の交通手段や変容等の課題解決策を考えてほしい。また、都市計画についての検討も願う。
- ・空家があり、古民家として活性化していくのが望ましいが、住宅開発が新規分譲中心である。不動産業者の調査も含め、街づくり策を検討し、発表してほしい。
- ・きたまちの特色としては、観光資源や歴史的建造物の活用面で、地域課題を考えていただきたい。